【模範解答】

Ⓐ

日　本　史　B

受験番号	氏名

1

①	キ	②	コ	③	オ	④	ク	⑤	ケ
Ⅰ	シ	Ⅱ	チ	Ⅲ	タ	Ⅳ	セ	Ⅴ	ト

2

問1	(1)	よつのふね						(2)	北路 → 南路（南海路も可）			
	(3)	エ	問2	(1)	ウ	(2)	ウ	(3)	エ			
問3	(1)	橘諸兄						(2)	藤原広嗣			
	(3)	ア	(4)	ウ								
問4	(1)	イ	(2)	エ								

3

問1	(1)	北条時宗		(2)	ウ	(3)	イ・カ	(4)	イ
問2	ウ	問3	エ	問4	対馬				
問5	(1)	エ	(2)	大輪田泊		問6	エ		
問7	イ	問8	(1)	イ	(2)	イ			

4

問1	ア	問2	(1)	ウ	(2)	イ	問3	ウ	問4	(1)	エ	(2)	イ
問5	イ	問6	ウ	問7	エ	問8	浦賀						
問9	河村瑞賢					問10	ウ	問11	ア	問12	ウ	問13	エ

合計	

2023年度一般入試 A日程

― 傾向と対策 ―

日本史B

出題のねらい

高等学校の日本史Bの教科書で学習する範囲を中心にして出題しています。基本的には、歴史を学ぶ目的を理解し、具体的な事実を正しく認識しているかどうかを重要視しています。昨今は現代との繋がりで歴史を理解する力が社会に求められていることもあり、単なる人名や年代の機械的な暗記ではなく、地理と融合した空間的把握の力を養い、特定のテーマに着目して、古代から現代までの変遷を把握・理解していくことも必要となります。

出題形式・内容（分野）について

出題の形式は、次の２つのパターンで構成されています。

①文章や史料の空欄の部分に語群や選択肢から正解を選んで充当する。

②文章や史料を読んで下線部分の設問に解答し、空欄を補充する。

内容は、政治・外交・経済・文化にわたり、テーマに即してそれらの分野が組み合わさって出題されています。

1 は、ロシアとの外交について基本的な事項を出題したものです。2 は、古代の海外交渉に関わる史料の理解をみるものです。3 は、大陸や半島と日本の相互交渉の理解をみるものです。4 は、日本の海をめぐる文化史について、基本的な事項の理解をみる問題です。出題される用語は基礎事項にしぼってありますので、歴史を空間的に把握しつつ事項を学習しているならば、難なく解ける問題となっています。特に、用語を正しく書きとることのできた人は、高得点も可能です。

採点後の感想・効果的な学習方法

基本となるのは教科書の歴史記述をもとにした学習です。重要な歴史事象を覚えるだけではなく、その周辺にある説明も含めて、原因から結果までをセットで理解しておくと、正誤問題等での得点アップが望めます。また、正しい書き取りを繰り返し行い、文字の記載ミスなどのケアレスミスを減らすと、得点も伸びるでしょう。多くの論説文に触れ、読むスピードを高めておくことで、長文化する説明文につまずくこともなくなると思います。加えて、史料がどのような歴史事象を表しているのかという問題について丁寧に学習することは、思考力や推理力を伸ばすことにつながるでしょう。近年は、地理的感覚と歴史事象を融合させた問題も多く出題されるので、地図を見ながら歴史を理解する訓練を積むと、より複雑な出題に対応できると考えます。